

【開示用】 北海道未来社会システム創造事業 申請事業一覧（受付順）

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
1	特定非営利活動法人札幌チャレンジド	札幌	ITで、どんな障がいがあっても、どこに住んでも、働ける北海道を創ります！事業	SDGsの基本理念である「No one will be left behind＝誰一人取り残さない」を実現する事業です。二つのプロジェクトを実行します。 【在宅就労プロジェクト】 北海道内の札幌以外の地域で障がい者のIT活用在宅就労を実現する 【就職プロジェクト】 視覚障がい者のITを活用した職域(仕事と就職先)を新たに開発する
2	一般社団法人あったらいいね	帯広	児童自立生活援助事業 及びフードバンク事業等との連携	第一に、現在、十勝管内に存在しない児童自立援助ホームの設立と運営を行う。第二にホーム利用者の自立支援の手段として、雇用創出を図る。雇用創出の手段として、日本の食糧基地十勝の余剰資源を活用するフードバンク事業を立ち上げる。これにより、ホーム利用者の就労訓練及び雇用機会を提供すると共に、生活困窮者への食材提供、無料食堂の運営、地域無料食堂への食材提供、災害時に備えた食材備蓄事業を行う他、スキル育成の事業も行う。
3	さっぽろ福祉支援ネットあいなび	札幌	助け合い活動団体ネットワーク構築で活動促進や担い手養成事業	孤立・貧困など地域弱者が増大している社会状況で、道内のNPOや助け合い団体による居場所、子ども食堂、学習支援、生活支援、送迎支援、障がい者支援、介護支援、子育て支援等。子どもから障がい者や高齢者まで多様な活動が取り組まれていますが、地域包括ケアシステムの課題である連携が遅れていることに着目し、行政では十分に対応が難しい社会課題に対して道内の草の根助け合い団体や異業種で活動をしている団体とのネットワーク構築と共に緩やかに連携をし、若者から高齢者、障がい者の活動担い手養成を行い、制度の隙間を埋める助け合い活動の促進や活性化を全道的に展開して行く事を目的としています。
4	holoholo(ホロホロ)	札幌	種まき型DV被害者伴走支援事業	① 地域の子育て支援拠点、子ども食堂、団体、企業等(以下、子育て支援拠点等)で、スタッフや利用者向けにDV講座「心のケア講座」を開催する。子育て支援拠点等と連携することで、DVを早期に発見し、孤立しがちな被害女性と子どもを継続的に支援することが可能になる。 ② 地域でピアサポーターを養成し、担い手不足だが需要のある「DV被害者ピアサポートグループ」の立ち上げから安定までを支援する。 ③ DVを目撃した子どもや、親と離別した子どものグリーフサポートを実施する。死別で実績のあるグリーフサポートの方法を用い、子どもにも「ピア」と出会い、傷つきから回復する拠点を提供する。
5	一般社団法人北葉福祉推進機構	札幌	障害福祉サービス(就労支援事業所B型)における在宅利用者の確保	障害があるため引きこもりとなってしまった方を対象に、在宅による就労支援事業所の活用を促し、本人に社会的関わり合いを持っていただき、生活習慣の改善を図る。
6	学校地域協働センターラポールくしろ	釧路	地域未来を創造する学校と地域の協働活動支援事業	少子高齢化、人口減少、貧困家庭の増加等を背景に、企業の人材不足は死活問題であり、また学校を支える教職員の業務過多は新たな教育の創造を阻む現状となっている。そこで学校と地域社会は課題を共有し、協働意識をもって人材育成という教育に臨まなければならない。 当事業は、学校と地域社会(企業)のニーズをマッチングさせ、子どもたちに今必要なキャリア教育やプログラミング教育のプログラムや人材派遣をすべての学校に提供していくことである。その要となるのが「コーディネーター」の存在で、地域活性化の中核となる人材を育成することで、課題解決が図られ、地域が一層一体感をもって元気になる事業である。
7	釧路ポイントカード事業協同組合	釧路	スキップポイントを活用した市民活動応援事業	① 釧路ポイントカード事業協同組合が発行するスキップポイントを活用した、子育て・教育への支援活動、若者・困窮者の就労支援活動などを行っている市民団体とその活動を応援する事業⇒年間6団体に50万ポイント(50万円相当)を寄贈。 ② そのスキップポイントが域内循環することで小売・飲食・サービス業等の商業者の活性化を図り、まちづくり活動につなげる事業。
8	NPO法人コミュニティネットワーク研究実践センター	札幌	共生型生活支援付き住宅の運営と生活支援付き住宅ビジネスモデル波及促進事業	生活困窮者等を対象にした保証人不要・即日入居可能な共生型生活支援付き住宅の運営を行う。生活支援員を配置し、専門機関等への同行支援や就労・生活支援を行い、共生スペースで生活困窮者等の居場所づくりを行う。また、継続的な共生型生活支援付き住宅を運営していくために、防火設備の改修や住環境の整備を行う。 生活支援付き住宅の取り組みを、北海道内に波及させるため、生活困窮者向け支援付き住宅のビジネスモデル報告書を作成し配布、道内3地区で生活支援付き住宅の研修会を開催する。

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
9	石狩シェアハピシティ計画	札幌	持続可能な地域づくりを支える新たな人材誘致プロジェクト-現代版逆参勤交代	30年先を見据えた持続可能な地域づくりを継続的に担っていくため、外部から気概とチャレンジ精神とを併せ持った新たな地域の担い手誘致を積極的に進める。 具体的には、「移住ドラフト会議」などで移住希望者を獲得し、地域人材巡りツアーを実施すると共に、首都圏等で若年層ファンづくりイベント「シェアハピナイト」の開催や会員制コミュニティ「寄合」を結成する。 また、避暑ワークのモニター実施を行うと共に、海外から起業志望大学生をインターン生として招聘し、避暑ワーカーとインターン生との新たなコラボレーションを創出する。 移住人口の獲得はもちろん、その前段の関係人口創出も積極的に進めると共に、地域での起業創出を誘引する。
10	一般社団法人国際人材ライフサポート協会	帯広	グローバルワーカーサポート事業 GWS	日本で働く外国人が安心して働ける環境を整備する事業です。これから更に多くの外国人労働者が、来日・来道する中、失踪や人権問題も後を絶ちません。改善の糸口は「人」。人が人を支える事業として、外国人労働者を支えるサポーター事業を提案いたします。十勝地区を皮切りに、必要としている道内の地区、全国で養成できる仕組みを実現化します。
11	一般社団法人なんらぼ	釧路	未来型就労支援のスタンダードモデル構築事業	本事業は、個人の特性に対して不可能な変化を求める現在の就労支援方法から脱却し、本人のモチベーションの回復や本人特性を活かすための環境整備が重要であるとするアクティベーション型の就労支援を実現し、その具体的手法をパッケージ化する事業である。 このパッケージは対象を限定せず、既存の様々な取り組みに接続することが可能であり、新たな困窮者を生まない為の予防事業に活用することで不登校者の支援等、教育分野でも有効であることを実証しようとする試みである。これらのパッケージをオープンソース化し普及させることで、衰退する地域の持続可能性を高め、誰もが地域で生きていける社会を実現させる。
12	母子保健推進事業所「いちのもり」(仮)	帯広	「次も産みたくない十勝」推進事業	母子の健全な成長を支援する専門職として、地域の「生命」に関する課題解決と予防に取り組む。まずは、最も効果的な時期と考える妊娠期教育と出産直後へのケア(超早期産後ケア)を中心に十勝全域で事業を展開する。そして行政、企業、関係機関との連携により、その支援が十勝の標準となるように体制を構築する。また、学校、施設等でのいのちの教育、移動保健室、世代間交流、専門職および関係機関との合同会議・研修会の企画、開催等の事業を展開し、すべての命の存在を大切にできる地域になるべく活動を継続し、次世代へも引き継げる事業とする。そしてこの取り組みが、同じ課題を持つ地域のモデル事業になることを目指す。
13	特定非営利活動法人旭川NPOサポートセンター	旭川	空き家整理の担い手に！生活困窮者の自立支援事業	現在、北海道における空き家件数は37万8千戸、空き家率は13.5%と、5年前より減少はしたものの、今後も人口減少に伴い増加していくことが予想される。空き家の増加は、防犯上も景観上も環境悪化を招くものとなっている。こうした課題を解決する担い手として、空き家の処分に伴う家財整理や、管理などを、一般就労が困難な生活困窮者の仕事として確立し、将来の自立に寄与することを目的とする。
14	特定非営利活動法人セラピア	函館	農副連携ひきこもり社会参加促進事業	農業の人手不足解消に向けて、全国的に社会問題が深刻化しているひきこもり当事者の社会参加の場として農業地域の農園をお借りし、対人恐怖を和らげる試みをさせていただきます。農園の指導を受けながら野菜を育てて命の大切さを学びます。休眠していたトマトジュース工場で就労訓練の場を提供させていただきます。最終目標は、ひきこも家庭の就農です。障害手帳を取得すること出来ない方への支援を行います。
15	特定非営利活動法人CoCoMaKa	真狩村	空の庭管理運営	7000㎡の敷地に展開されたプロの監修によるイングリッシュガーデンを管理運営していく。この中で、高齢化と人口減少の進む真狩村及び周辺ひいきを活性化していきたい。ボランティアの生きがいの場、介護保険の枠を超えた住民サービス、音楽療法、園芸療法、芸術療法、芸術の提供、マルシェを通じて地元の農産物の広報販売、保育所、子育て支援センターとの関わり等々、幅広く活動を続けていきたい。
16	株式会社MOKA.	釧路	北海道未来社会システム創造事業	都市部(首都圏や札幌等)からの転勤・移住転職をする際、本人よりも配偶者(転勤者の妻)が、知人や友人のいない地域で子育てや日常生活を送ることに対して、地域・社会との接点や役割を感じられずひとり悩みを抱えることは多い。そのことが転勤・移住転職の壁になるケースもある。そこで転勤者の妻に対し、やりがいのある活動や地域内でのコミュニケーションを取れる場の提供を行い、慣れない地域での生活不安や悩みの解消を図る。地元の中小企業支援機関、金融機関、託児施設、メディアなどと連携し、以下の2つの活動を展開する。 (1)働く意欲のある転勤者の妻のスキルアップや就労の支援・斡旋 (2)低コストでの起業を支援するチャレンジショップの創設

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
17	特定非営利活動法人マイスペース美幌	美幌町を中心に北見市、網走市、訓子府町等	つながるNPOが創造する農林水福環融合事業	本事業は環境に配慮した1次産業と福祉の融合型事業創造をNPOが協働で目指すものである。障がい者、就労困難な若者、子育てママ等、未就労、能力を十分発揮できていない人材を中心に研修育成し実施する。美幌町内の廃校を拠点に、製炭炉による炭づくり、自団体の6次化商品に加え、オホーツク管内の他福祉NPOの商品を販売する直売所を設置する。炭づくりでは1次産業の残渣物、廃棄物を利用した炭を生産し、ゼロエミッションを目指した循環サイクルをつくる。6次化商品は参加NPOが協働で加工品開発を行い、加工作業を分担、負担を低減し共同で販売する。関西エリアのNPOや企業と材料調達や販売面で協力し、地域連携を進める。
18	NPO法人大雪山自然学校	上川中部を中心に、北北海道エリアを対象とする	北北海道を中心とする子どもと地域の未来のための共創(育ち合い)促進事業	北北海道エリアにおいて、制度外事業や制度の狭間にあるサービスなど、インフォーマルな子ども支援に取り組む組織の運営基盤が向上し、プログラムやサービスが量的・質的に拡充され、安定的・持続的に提供されることを目的とし、本申請事業においては、北海道の未来を担う子どもたちの健やかな育ちを実現・充実させるための活動に取り組むNPO・市民活動団体のニーズ・活動実態調査を経て、伴走支援や体系的な研修事業等必要なメニューを構築する。助成事業終了時には、人材・物資・財源・情報を共有し、かつ行政に依存しない『民から民』への資源の流れによる課題解決を促進するためのコンソーシアムの設立を目指す。
19	特定非営利活動法人Kacotam	札幌市・江別市	ゆるきち事業	子どもが勉強したり、他学校・他学年・他世代の人と話をしたり、ゆっくりと休息したりすることができる空間を提供する。また、関わる中で見えてくる子どもが抱えている困難や学びのニーズに対して、社会資源を活用したり、社会福祉士や臨床心理士等の専門家の助言を受けたりする体制を整える。さらに、この活動をベースに子ども・若者の居場所づくり、ボランティアの質の担保・向上を図ることができるように、活動の標準化、マインドやスキルを身につける研修プログラムの構築を図り、札幌市外の市町村で展開できるような仕組みづくりを整え、江別市内で実践していく。
20	NPO法人北海道エコレッジ推進プロジェクト	余市町	NPO法人北海道エコレッジ推進プロジェクト	本事業の目的は、余市町の特産品であり現在注目を集めているワインブドウの栽培プロセスを広く開放して農園ファンを増やしつつ、ワインブドウの葉を使ったお茶の加工で高齢者など生活弱者の居場所や新規就農者の収入にすることです。当団体は町内における活動実績とネットワークを活かし、学生や外国人、一般の旅行客まで幅広い人たちのニーズに合わせたサポートを提供します。援農プログラムを通じて農家の人手不足が解消され、さらに都市の人びとに学びや癒しの機会を与えて地域のファンが増えることを期待しています。消費者と生産者が一体となって取り組む「ものづくり」や「ツーリズム」のスタイルは他地域へも波及すると考えます。
21	合同会社ここから	函館	笑う・生きがい工房函館ものごと(略称生きものごと)	町内会と当団体がコラボレーションしながら、地域から孤立をなくし、一人ひとりが最期まで生きがいを持ち、地域全体が笑いあふれる環境を構築することを目的とした事業である。具体的には、新川町内会とコラボレーションし、大人食堂や健康体操教室を実施し、また、引きこもり者を訪問し参加を促す活動を行う。数年後には住民が「第5の居場所」を見つけられるような地域社会の構築を目指す。
22	一般社団法人国際交流団体ブロック	北海道亀田郡七飯町、北海道函館市、北海道北斗市の地域	青少年育成グローバル事業	語学を通じ、未来に羽ばたく子供達の可能性を広げ、グローバルな感覚を養う場を提供していきたい。子供達が、生活や遊びの中で日本語を身につけるように、英語も同じように習得し、英語力をコミュニケーションスキルとして発展させていくことを目指している。私達が無償で月一回行なっているイングリッシュサタデースクールのプログラムは、既存の英語学習とは異なり、遊びやコミュニケーションの中から楽しく自然に英語を習得できるメソッドを使用している。今後は、より多くの子供達に英語に触れあう機会を提供したい。しかし、資金が不足し運営は余裕のあるものではないのが現状である。
23	特定非営利活動法人リカバリー	札幌市近郊 東京都近郊	札幌刑務支所等の刑事施設における女子薬物依存症者出所後の伴走型支援体制構築事業	2019年度から法務省の「札幌刑務支所における女子依存症回復支援モデル事業」の委託を受けて、「薬物依存症の発症背景に、さまざまな逆境体験を有する女性が、安心して暮らせるための伴走型支援」を特徴としたプログラムの作成を行う等「塀の中と外をつなげる」日本初の取り組みを実施している。しかし、刑務所出所後の地域社会における伴走支援にかかる財源が十分に確保されていない。本事業によって、薬物依存症者を社会から隔離するだけで再犯を防ぐことはできないことを証明するとともに、女性たちと引き離された子供達の健康な育ちが阻害されない様、関係機関と「縦割りの壁を超えて」新しい連携を生み出すことが可能となる。
24	特定非営利活動法人福祉旭川共有会	旭川	医療的ケア・重度心身障害児者受け入れ拡充の為の設備等及び経費資金の為の運営費補助事業	当法人において、障害児通所支援事業及び生活介護事業では医療的ケアが必要な方を中心に受け入れを行っております。しかし、高度な医療が必要な方においては受け入れる施設側にも同等の設備や医療器具が必要となります。受け入れに必要な設備等の整備費用や入浴施設の維持管理費、また看護師等の医療専門職の人材確保経費等の医療的ケアが必要な方々を安全に受け入れられるための整備事業とし、申請致します。

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
25	一般社団法人旭川東豊スポーツクラブ	旭川	ななかまど事業	旭川市では、様々な問題を抱える幼児から成人までの総合的な支援を行うコミュニティが皆無だ。そこで、様々な問題を解決するために人々が集まれる場を作り、人と人、関係団体同士、または異業種の繋がりを活性化させ問題解決の促進を行う。具体的には、空き倉庫を利用したコミュニティの場を作り、次世代を担う若者の育成、様々なプログラムを体験できる児童会の設置、地元の活性化につながるモノづくりやe-Sportsの普及、心や身体に問題を抱える児童に対する支援活動、生活に困窮している児童への支援、起業したい人に対するスタートアップ支援などを行う。
26	特定非営利活動法人ふらの演劇工房	富良野	演劇による未来の人材育成事業	①先進地視察…オレゴン州アシュランド ②表現とコミュニケーションワークショップ ③ハイスクールシアター ④青少年演劇鑑賞事業 ⑤シアターバス運行事業
27	一般社団法人ちくたいKIP	帯広	多様な「ひとのつながり」でレジリエントな子どもを育成する次世代型ヘルスケア体操コミュニティの構築	既存の公共施設を利用した体操コミュニティの拠点を増やす。具体的には、2020年2月29日にリニューアルオープンする帯広市総合体育館において体操コミュニティを展開する。手法としては、帯広畜産大会会場と同様、子ども向け体操教室事業をきっかけに、半年後にシニア向け筋力トレーニング教室を開講する。さらに、シニア教室の育成的運営で生成された「エビデンスの高い運動プログラム」と「コミュニティ育成方法」をパッケージ化して、B to B・B to G事業としてビジネス展開し、会費の安価な体操コミュニティの下支えを行いたい。
28	函館朝市協同組合連合会	函館	～買い物・お食事・交流で人・町を元気に！～「おでかけリハビリ」	「おでかけリハビリ」とは、ご高齢の方や要支援・要介護などの援助の必要な方を中心に買い物や食事、そしてレクリエーションを楽しんでいただく、即ち“おでかけそのものをリハビリとする取り組み”です。 朝市が地域の医療・福祉機関や行政機関等と連携し、高齢者が活動・運動・交流ができる環境を構築し、地域貢献・CSRの一環で実施したプロジェクトで、その効果はリハビリとショッピングを組み合わせることにより、高齢者にとっては“生きがい”や“幸福度向上”に繋がり、朝市にとっても新たな購買層の拡大に繋がり地域経済の活性化にも寄与しています。将来的には買い物難民救済や社会保障費の適正化等にも貢献することを目指しています。
29	株式会社由希	北海道室蘭市中島町	地域共生社会の街づくり(ごちゃまぜの街づくり)	コミュニティスペースと共生型デイサービスを併設した活動拠点「ゴチャマーゼ」を創り経営基盤を固める。「ゴチャマーゼ」では、子どもや孤立者の支援を行いながら、企業と企業、人と人の繋がりをつくり、人の多様性を認める場と機会を提供。共生型デイサービス10年の実績をもとに、共生型支援の人材育成、共生社会に向けた地域住民サポーター養成を実施。住民自立型の地域包括ケアの基盤を創る。
30	特定非営利活動法人かしわのもり「ここから実験室」	鹿追町	ここから実験室	平成30年5月に立ち上げた、「暮らしたい地域で子どもの健やかな成長を、地域の仲間たちと応援し伴走する」プロジェクト。鹿追町内の子どもたちを対象とし、身体づくりの「たいそう」、地域と子どもを繋げかつ経験の幅を広げる「アート・クック」、保護者同士の交流や学びの視点の「カフェ」、個別相談機能の視点である「相談支援」の5つの機能がある。一緒に取り組んでいるボランティア「ここから隊」は、「鹿追が好き」「子どもが好き」をキーワードに集まっている。
31	特定非営利活動法人ねっこぼこのいえ	札幌	民間・NPOによる利用者支援モデル事業	日常の活動を通じて寄せられる様々な相談事例を要支援者と共に整理し、公的・民間の様々な支援体制に繋ぐことで問題解決を図る。様々な事情で要支援者だけではその手続きなどを行うことが困難である場合に支援員が要支援者に付き添って(同行して)役所及び関係各所に出向いて諸々の手続きを行う支援をする。また要支援者本人が諸々の手続きを行う際にその人にあった柔軟で個別の支援を実施する。また要支援者にかかわる様々な関係機関との連携を図る。
32	特定非営利活動法人iCareほっかいどう	札幌	コミュニケーション支援から在宅支援へ	これまで行ってきたALS患者等のためのコミュニケーション支援をより強化・拡大するとともに、医療(相談・情報提供)や就労支援の分野にも活動を広げていく。団体や活動の持続可能性を探るために、重度訪問介護事業開設への道筋をつけ、ALSや難病で困っている道内各地の人々が安心して在宅生活を送れるよう支援者と連携し、様々な情報を届けられるセンター的機能をもつことが3年間の最終目標である。
33	Design:L	函館	「函館の夜景のように一人ひとりが光り輝く社会に」	本事業は、「当事者の働き方の多様性の実現」という社会課題の解決を目的に、当事者の語りと地域資源を掛け合わせプロジェクト化し、当事者が中心となったまちづくりを行う。 本事業は、当事者が、制度の狭間に存在する地域課題の解決を目的としまちづくりを行うことで、当事者が居場所と役割を見つけることができる。
34	みなみく(3739)	札幌	持続可能な未来のために～次世代への責任～	人間にとって一番の毒は孤独である。孤独は不安感を強め、犯罪や死へも繋がってしまう。孤独から連帯へ支え支え合う。誰も切り捨てない。社会から置き去りにされた人々を援助でじゃま支援によって一人でも多くの人へ支援の手を届けたい。生活保護や福祉サービスなどのサポートを受けながらも社会の一員として役割を持つことで生きがいに繋がる「循環型構造」を実現し、SNSで発信し続け世に広め、社会に於いての持続還元社会を目指す。

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
35	サイエンス・サポート函館	函館	観光都市函館の食環境デザイン人材の育成とプラットフォームの構築	本事業では、観光都市函館の豊かな食資源とはこだて国際科学祭で培ってきた経験を礎として、人口減少という状況の中で、子ども・若者、生活困窮者を含む多様な人々が、ゆとりをもって暮らせるまちづくりを目指します。これを実現するために、食資源とICTを活かし、函館の食環境をデザインできる人材を育成することで、地域産業の活性化を進めていきます。当該地域には経済的に恵まれず、持てる才能が活かしきれない人々が多数存在しています。これら人材は地域活性化のための源泉であり、ICTを生かした人材育成と、地場産業に付加価値を与え活性化するプラットフォームの構築を目指します。
36	一般社団法人健康生きがいづくりアドバイザー北海道協議会	札幌	該当情報なしのため未記載	該当情報なしのため未記載
37	株式会社ヒトココチ	函館	「学校の長期休みを中心とした函館圏のセンターとなる学童保育所の開設」	国内全体で少子化が進む中においても、学童保育の利用児童数は増加傾向にある。従来の行政側の施策は、近隣の学校よりほぼ毎日通所することもが主な受入れ対象とされてきたが、近年、雇用の流動化の進行により保護者のニーズが高い、学校の長期休みのみの受入れを行う学童保育所を新たに開設する。学校の通常登校期には、こどもの最低限の学習能力の保障を目的とした月会費の安価な個別学習支援塾を開設し、職員の通年雇用を確保する。
38	公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会	北海道全域	北海道若年女性支援ネットワーク事業	貧困や孤立のリスクが高い若年妊娠女性を対象に、キャリア支援と地域での居場所・つながり作りの支援を行うネットワークを構築する。道内4か所の地域拠点ネットワークが、キャリアについてのおしゃべり会や地域交流会を実施し、地域のステイクホルダーと協働で地域で孤立しないための環境づくりと女性への伴走支援を行う。これまでに培ってきたビジネスや事業創出支援の経験や、民間企業との連携、ジェンダーの視点を生かすことで、新しい協働の形での課題解決を目指す。さらに支援事例を収集しノウハウの共有を進めることで、他地域への横展開の可能性を探る。
39	北海道レインボー・リソースセンターL-Port	全国	SNSによるセクシュアル・マイノリティ専門相談「にじいろTalk」	LINE@およびLINE公式アカウント(LINE株式会社の提供するサービス)を用いたセクシュアル・マイノリティ(同性愛者、トランスジェンダー等を含む性的少数者の総称)の若年層を対象とした一対一の相談事業。月に1回～2回曜日不定で19時～22時、一人30分を目安に専門的な相談を受け付ける。「同性の友達を好きになったが、これはおかしいことだろうか」「自分の生まれ持った性別に違和感がある」といった、恋愛対象や自身の性別、また恋愛に対するスタンス等においてマイノリティであるが故に苦しむ若者が気軽に、そして誰にも知られることなく頼ることのできるツールとしての確立を目指す。
40	ハーミット	名寄市およびその周辺(下川・西興部・和寒など)	「学びのモチベーション」を高める学習拠点広域展開事業	王子マテリア工場が2021年に生産停止し、関連事業を含めると雇用200人が失われるなど、地域活力が急速に低下する名寄市に、この局面を切り開くための「学びのモチベーション」を高める学習拠点を開設する。 そこでは、これからの時代を先読みし、目指すゴールからバックキャストで今を捉える1 on 1 ミーティングを土台に、自主学習、そこに集う仲間との Project-Based Learningなどを通じ、主体的に学び、自分の物語を生き、社会との接点を見出すことを目指す。
41	美幌町観光まちづくり協議会	北海道網走郡美幌町ならびに隣接地域	～Holiday home in Japan～生活観光の拠点づくりのための空き家活用促進事業	女満別空港から一番近い商業エリアという立地を生かし、昨今急増する訪日外国人向けに、空き家や有休資産をリノベーションした宿泊施設をパッケージレンタル(民泊)として再利用することにより、「日本の別荘」として、北海道の東エリア(道東)を暮らすように旅する拠点づくりを整備・推進します。 また、日本の別荘で暮らすように旅するためには欠かせないコミュニティー形成の場づくりとして、地域住民との交流を促す食や歴史・文化の探究体験、アクティビティー体験を充実することにより、当該エリアの交流人口のみならず関係人口の増加することにより地域経済の活性化を実現します。
42	特定非営利活動法人 地域生活支援ネットワークサロン	北海道釧路市	若者たちの自立プロセスを地域の社会資源として活用するための仕組みづくりのモデル事業(若者自立プロセス資源化モデル事業)	家庭や地域の分断化、格差の広がりによって、自立困難な若者たちが、居場所や行き場を失い、成長や活躍の機会を逸し、心身共にダメージを受け、停滞している。一方では地方における人材不足は深刻で特に福祉人材は人材確保に困難を極め、事業の維持・存続が難しくなっている。本事業はそうした社会的背景を踏まえ、機会を逸した若者たちに必要な生活と教育、就労の機会を提供することで、同時に人材不足の地域における地域生活支援の担い手の人材確保、育成していく分野横断的で持続可能な相互扶助の仕組みを創造するために実証実験的なモデル事業を行う。

ID	団体名	エリア	申請事業名	申請事業概要
43	明日のアスリート研究所 アスアスラボ	札幌市、旭川市、函館市	北海道全域におけるスポーツを通じた子どもの成長支援事業	私たちはプロアスリートが講師をする子供向け無料スポーツスクール「アスアスラボ」を定期開催しております。「アスアスラボ」は野球・サッカー・陸上・バスケットをはじめ多種多様な競技で開催し、プロアスリートが考えた高度なプログラムを用いて直接指導を行います。 プロアスリートとのふれあいの場で終わるのではなく技術面・精神面でしっかりと成長や気づきを与えられるようにしています。 また招いたアスリートの成功体験・失敗体験などのインタビューを記録し、特設サイト上(https://www.athlete-manual.jp/)に公開することで、スポーツを通じた学びの場を参加者のみならず、すべての人たちに提供しています。
44	ひふみよ	帯広市及びその他十勝管内町村	不登校児童生徒及び地域で居場所を見つけれない若者、その家族のための居場所づくりと学びの支援事業	学校や家庭・地域の中に居場所を見出せない子どもや若者を対象に、学校家庭以外で安心して過ごせる第3の居場所フリースクール&フリースペースでの学びの支援のほか体験活動や人間関係をはぐむ環境づくりなど一人一人に合ったきめ細やかな成長と自立を促す事業を行う。また、不登校や引きこもりで悩む本人や家族の相談援助活動、保護者・教育関係者・市民の学習と交流の機会および情報の提供・発信活動に係る事業を行う。
45	ezorock	北海道	持続的な北海道に向けた関係人口を活用した次世代育成事業	全道各地で地域の担い手の確保と育成が急務の課題となっている。当団体では、2011年より都市部の若者が地域づくりに取り組む人材育成プログラムを展開してきた。また近年、都市と地域の新たな関わり方として「関係人口」が注目されている。本事業は、関係人口を手法とした人材育成モデル構築事業として実施する。特に全自治体に設置されている社会教育担当を地域側のコーディネーターとして、都市部人材の受け入れ及び地域づくり人材育成の重要な窓口と位置づけ連携する。その結果、モデルケースから培ったノウハウが社会教育の現場で一般化され、関係人口を活用した人材育成モデルが持続的な地域づくりのモデルとして波及される。
46	特定非営利活動法人飛んでけ車いすの会	札幌市、千歳市、余市町	「車いすの学校」を活用した“三方よし！”の社会的弱者支援	社会的弱者（引きこもり、不登校、生活困窮者、障がい者、外国人労働者など）が、熟練者による車いす整備技術を伝承する「車いすの学校」に参加することを通じて、社会とつながりを持ち、多様な人とコミュニケーションを図り、就労などのきっかけをつかむことができるよう意図した事業である。「車いすの学校」には、保健室やPTAを設置し、専門職による健康よろず相談や、家族が集う場を提供することに特色がある。 一方、次世代を担う整備ボランティアの人材不足が課題である本会にとっては、彼らが車いす整備ボランティアとして活躍することによって、世界規模の車いすのリサイクル・リユースの仕組みを持続させる人材が得られる事業となる。
47	特定非営利活動法人食の絆を育む会	十勝管内及び全道地域	持続可能な農村づくり推進事業	持続可能な農村づくりに繋がる有効的な活動として、農村ホームステイ事業がある。都会の高校生を農家宅で受け入れるこの活動で、高校生は、命の糧を生み出す農村地域に当事者意識を育み、また受け入れる農業者は、地域や農業への誇りを醸成している。本事業では、農村ホームステイが抱える課題を解決し、持続可能な農村づくりを推進すること目指し、次の3つテーマで事業を実施していく。 (1)地域の未来を担う若手農業者たちの関わりへの拡充 (2)高校生と農業者などが交流できるアプリケーションの開発 (3)高校生及び農業者の情報管理のIT化と受入管理システムの開発
48	特定非営利活動法人グラウンドワーク西神楽	旭川市西神楽地区	持続可能な地域を創る西神楽まちづくり事業	本申請のテーマを「安心安全に暮らせるコミュニティづくり」と「地域の働く場づくり」とし、主な事業を次の通り進める。 ・グリーンツーリズム事業の展開 ・ICT活用事業との連携 ・独自収益事業（ソーシャルビジネス）の展開 ・空き家・空き地対策事業との連携